

学び舎通信

5月号

町内小中学校の情報を
毎月お届けします



大中

桜ボランティア

一目千本桜。白石川河川敷の桜が、今年も美しく咲いてくれました。大河原中学校では、学年ごとに「桜まつり」の会場に行き、ゴミ拾いを行っています。全国各地からおいでいただいた方々に、気持ちよく桜を楽しんでいただけるように、生徒たちも頑張っています。「ありがとう」「へろろさま」など、温かい声をかけてくださる方もおり、生徒たちは、やってよかったと実感して帰ってきました。郷土の良さを知り、守っていくという思いを強くする活動となっています。学級ごとの記念撮影も行いました。



金中

新築体育館で 新入生30人の入学式挙

4月8日、大勢の来賓の方々と保護者に見守られ、新築間もない新しい体育館で第70回の入学式を行いました。「一致団結し、金中生としての自覚と責任をもって金ヶ瀬中学校の力となり、活躍できるよう、精一杯努力します」と力強く誓った30人の新入生を迎え、全校生徒100人で平成28年度がスタートしました。今年度も生徒の確かな学力の育成とともに、農業体験・職場体験など志教育を推進し、「自主」「敬愛」「健康」を柱に、誇りと活力に満ちた学校を目指します。

暗唱大好きシリーズ① 大小編

「おおがわらの暗唱読本 『寿限無』贈呈」

4月11日の入学式で、「おおがわらの暗唱読本『寿限無』」が、齋一志教育長から新入生に贈呈されました。この暗唱読本は、大河原町教育委員会と教員が中心になり、2年間にわたる作成・編集期間を経て、今年度完成しました。暗唱読本では、郷土の歌人や俳人、宮城県ゆかりの



暗唱読本「寿限無」

人物の作品を掲載しています。暗唱読本の活用をとおして日本語の美しい表現やリズムを身に付けさせることで、考える力や感じる力、想像する力や表現する力の基盤となる語彙力の向上と言語感覚が育成されます。また、これからの自分の生き方を考えたり、郷土を愛する気持ちを高めたりします。早速、各教室から、児童の明るく元気に暗唱する声が聞こえています。これから、朝の学習や授業、家庭学習で取り組ませ、「暗唱大好き」の児童を育てていきます。



大小

「ありがとう6年生」 〜ほくも私も大先生〜

入学式の翌日(12日)から6年生が、「ほくも私も大先生」と称して、毎朝1年生のお世話をしています。「おはよう。ロッカーにランドセルを入れてね。」「教科書やノートは机の中に入れるんだよ。」「1年生の教室では、優しい声が響き、たくさん笑顔が見られます。1年生は、6年生の優しさに安心したように、学校生活のスタートをきる事ができました。また、6年生は、人から頼られることの喜びを感じているようです。これから、心を育てる活動に、学校全体で取り組んでいきます。

お花見真っ盛り

今年は、桜の開花も早く、入学式を終えた次の日から、どの学年も校庭に出たり、近くの山に校外学習に出かけ季節の様子を感じていました。

特に、1年生は校庭の桜の下で花見をしながらおいしそうにお団子を食べていました。

写真は、4年生が河川敷に出かけ桜の木の様子や花びらのスケッチをしているところです。

金ヶ瀬小学校は、緑に囲まれ、自然が豊かな環境にあります。この素晴らしいふるさとを大切に育てる児童を今後育てていきたいと思えます。



金小



南小

安全パトロール対面式

南小では、児童の登下校の安全意識を高めるため、4月13日の朝会で、「安全パトロール対面式」を行いました。当日は5団体、総勢28名もの皆様に「ご出席いただきました。」

参加された皆様から、「こちらが子どもたちの元気な挨拶や笑顔から元気をもらっています。」という有り難い言葉を掛けていただきました。子どもたちは地域の宝であり、子どもたちの声は、地域を元気にしていることを改めて感じました。

今後、安心・安全な学校づくりを地域の皆様と共に充実させていきたいと思えます。



身近な自然再発見

…人間と共生する昆虫たち…

25「虫たちのかくれんぼ②」
目立ってナンボ

交通標識は、遠くからでも分かる黄色と黒の模様が採用されています。今回は、この交通標識のように目立つよう作戦で生き残りを賭けた擬態をする虫の話です。

カミキリムシの中のトラカミキリという仲間は黄色と黒のシマシマ模様をしています。ぱつと見、スズメバチなどにそっくりです。天敵の鳥たちもハチだと勘違いして食べないようです。もしカミキリムシだとばれたらすくばらされてしまうでしょう。「オイラはハチだぞ。食べるごまきいぞー」と鳥たちに知らせるために黄色と黒の模様でいるわけです。

かくれんぼだったら、わざと隠れないのは禁じ手ですが、自

自然界ではこれも有りです。このように、天敵が嫌がる虫と同じ模様を採用する擬態はミニクリーと呼ばれています。警告するからには「目立ってナンボ」です。この派手で目立つ模様は警戒色と呼ばれています。ほかに、有毒成分のアルカロイドを体内にもつアサギマダラという蝶にそっくりなアゲハチョウやヒカゲチョウの仲間がいます。食べてもまずい蝶に似せることで天敵の目をごまかそうという作戦です。

さらに、驚くのは模様だけではなく、飛び方まで真似をしていくことです。ただ、驚かすとアゲハ本来の飛び方に戻ります。ばやく逃げ去ります。

そっくり作戦でいくか、目立つ作戦でいくか？虫にも悩みどころかも。人間界だって打たれる覚悟で出る杭になるか、身を隠してやり過ごすか、どちらにしても人生イロイロの泣き笑いが…。

次回は、イトトンボのかわいいハートマークの話です。

元金小校長、昆虫教室(町教育委員会主催)講師 鈴木健司さん